

募集人数

80名

参加費無料
事前申込制

世界遺産・吉野大峯シンポジウム

「世界遺産・吉野大峯の

こころを未来へ」

第1部

基調講演

『日本の中の世界遺産「吉野・大峯」の意義』

宗教学者 早稲田大学オープンカレッジ講師 正木 晃 氏

第2部

パネルディスカッション

『世界遺産「吉野・大峯」の未来』

正木 晃 氏（宗教学者・早稲田大学オープンカレッジ講師）

五條 良知 氏（総本山金峯山寺管領）

中井 章太 氏（吉野町長）

南 かおり 氏（MCタレント・吉野町観光大使）

「紀伊山地の霊場と参詣道」の中核として世界遺産に登録されている「吉野大峯」地域は、修験道の聖地として1300年の歴史を有し、「日本人の心のふるさと」「世界遺産と日本一の桜絵巻の里」として今もなお、多くの人々を惹きつけています。

このかけがえのない「吉野大峯」の魅力や価値を再認識するとともに、未来に継承するための保全保護の必要性和それらを活用した地域の発展など、吉野の未来について考える契機とします。

日 時

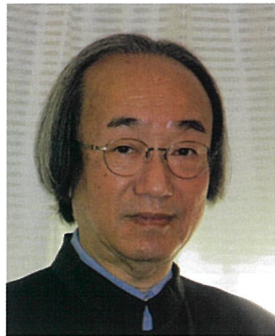
令和7年9月27日（土）
14時00分～15時30分

場 所

（株）奥村組
クロスイノベーションセンター
東京都千代田区丸の内2丁目7番2号 JPタワー

主催：世界遺産吉野山活性化協議会（吉野町・総本山金峯山寺・吉野山観光協会） 協力：（株）奥村組

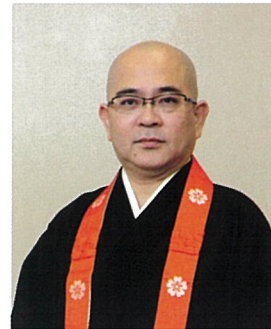
「世界遺産・吉野大峯のこころを未来へ」



基調講演・パネリスト

正木 晃氏（宗教学者）

1953年、神奈川県小田原市生れ。筑波大学大学院博士課程満期退学。専門は宗教学。文献研究にとどまらず現地調査を実施し、仏典の現代語訳にも務める。主著に『はじめての修験道』（田中利典長編との共著）・『現代の修験道』・『現代日本語訳法華経』・『密教』・『チベット密教』・『チベット史』・『空論』・『ほとけ論』などがある。



パネリスト

五條 良知 師（総本山金峯山寺管領）

昭和39年京都府綾部市生まれ。大正大学仏教学部卒業。平成27年金峯山修験本宗管長、金峯山寺管領就任。大峯山（金峯山）回峰100日行満行。（公財）全日本仏教会副会長歴任。東南院大峯奥駈修行33回修行。八千枚大護摩供を3度修行。

プログラム内容

14:00 開会 挨拶

14:10 基調講演

『日本の中の世界遺産「吉野・大峯」の意義』

正木 晃 氏

14:45 パネルディスカッション

『世界遺産「吉野・大峯」の未来』

パネリスト 正木 晃 氏

五條 良知 師

中井 章太 氏

南 かおり 氏

15:30 閉会



パネリスト

中井 章太 氏（吉野町長）

昭和43年、吉野町西谷生まれ。関西大学社会学部卒業。平成3年、大和団地株式会社（現大和ハウス工業）入社後、平成8年に退職し、家業の林業を継承。その後、（社）吉野青年会議所理事長、吉野町議会議員、吉野町議会議長等を歴任し、令和2年2月より第6代吉野町長に就任。現在2期目。



パネリスト

南 かおり 氏（MCタレント・吉野町観光大使）

大和郡山市と吉野町の観光大使。デビューから35年常に多数のレギュラーを持ち続け、最近では地元奈良愛を番組でも発揮している。神社仏閣での奉納コンサート内の歴史朗読。特攻隊最後の手紙の朗読をライフワークとしている。

お申し込み方法

申し込み期限：9月22日（月）

①氏名 ②電話番号 ③住所 ④同行者の人数と全員の氏名 を明記の上、申込フォーム、E-mailまたはFAXにてお申し込みください。※申込多数の場合は先着順

申し込み
フォーム



FAX専用申し込み FAX 0746-39-9238 （一社）吉野ビジターズビューロー 宛

氏名（ふりがな）	電話番号	ご住所 〒
同行者数 名	同行者氏名	
E-mailの場合 yoshinotour@yoshino-kankou.jp まで上記内容を明記の上、お申込みください。		

ご当選者には、受講票と会場への入館方法をお知らせします。